



かけはし

249号

2026年7月

ご自由にお持ちください

特集

手術支援ロボット「ダビンチXi」による^{そけい}鼠径ヘルニア手術を開始

リハビリ通信

気圧の変化に負けない! 梅雨時のスッキリ体調管理術



『あなりたい』
 『こうなりますように』の
 願いの重さに

笹は
 しなりながら
 耐えている



1. 鼠径ヘルニアとは？

「鼠径部」とは下腹から足の付け根にかけての領域であり、足を上げたときに曲がる部位よりも上方の領域となります。

「ヘルニア」とは体の一部分がはみ出る、突出する状態のことを言います。鼠径部の場合はいわゆる「脱腸」、すなわち腸がお腹の中から外へはみ出て突出している状態です。

「鼠径ヘルニア」とは腸がお腹の中から筋肉の隙間を通して皮膚の下まではみ出てくるために、下腹から足の付け根にかけての領域が膨らんでしまうという病気です。放置すると進行し、はみ出た腸が戻らなくなって痛みが出る「嵌頓(かんとん)」状態となれば、腸が壊死し命に関わることもあります。



腸がはみ出ること
赤枠部分に膨らみや痛み



はみ出た腸が戻らない
「嵌頓状態」

2. 鼠径ヘルニアの治療

鼠径ヘルニアは、お腹の壁に開いた孔を通して腸や内臓脂肪がお腹の中から外へと飛び出してくるといった物理的な仕組みの病気であることから、手術でしか治療することができません。

「鼠径ヘルニアの手術」と一言で言っても、ヘルニアの状態・ご年齢・体力・持病・ご職業・お仕事の状況によって、最適な治療法は変わります。当院では、①局所麻酔下での手術、②きずを限りなく小さくした低侵襲腹腔鏡下手術、③より精度の高いロボット支援下手術を3本柱に様々な手治療法を行えるため、お一人おひとりの状態、背景、ご希望に最適なテーラーメイド治療をご提供することができます。

3. 当院だからできる、3つの手術アプローチ

① 鼠径部切開法

ふくらんでいる鼠径部を4~5cm切開し、人工の補強シート(メッシュ)でお腹の壁を補強する方法です。

全身麻酔が難しいご高齢の方や、心臓・肺・腎臓に持病のある方でも、**局所麻酔と鎮静剤を組み合わせ**て、**眠った状態のまま安全に手術が可能**です。

また、リヒテンシュタイン法という方法であれば抗血栓薬(血液をさらさらにするお薬)を続けたままでも手術が安全に行え、休薬によるリスクを避けられます。

② きずを小さくした腹腔鏡下手術

お腹に小さな穴を開け、お腹の内側からメッシュで補強する方法(TAPP法)です。腹腔鏡手術においては**きずが小さいため傷痕が目立ちにくく、早期の社会復帰が期待**できます。

当院ではきずの負担をさらに減らすために5mm×2か所+3mm×1か所の非常に小さなきず(きずの長さを合わせても合計がわずか13mm)で手術を行っています。きずの痛みや負担の大きさはきずの数よりも大ききで決まりますので、きずを1か所にまとめる代わりにきずの大きさが2cm程度となる単孔式手術に比べて**きずの痛みや負担がより少なく済み**ます。

③ ロボット支援下手術

手術支援ロボット「ダビンチXi」を医師が操作し、手術をより精密・繊細に行う方法です。

2026年6月より保険診療で施行できるようになりました。また、当院には**ロボット支援下鼠径ヘルニア手術の指導医資格(プロクター)**を持つ外科医が在籍しております。確かな知識、技術、指導力のもとロボット支援下手術を行っておりますので、安心して受けていただけます。



手術支援ロボット「ダビンチXi」

Xi」による鼠径ヘルニア手術を開始

4. こんなお悩みをお持ちの方、当院にお任せください

ご高齢・持病をお持ちの方

- ・ 高齢・持病があり手術が不安
- ・ 全身麻酔がこわい・受けられない
- ・ かかりつけ医に「手術は危険」「やめておいた方がいい」と言われた
- ・ 抗血栓薬（血液をサラサラにする薬）が休薬できない
- ・ 心臓・肺・腎臓に持病がある

【局所麻酔下手術】

全身への負担を最小限に抑えて手術が可能です。地域中核病院として、リスクの高い患者さんを多く受け入れてきた豊富な経験と、院内各科との連携体制があります。他院で断られた方も、ぜひ一度ご相談ください。

お仕事の忙しい現役世代の方

- ・ 仕事が忙しく長い入院期間を取れない
- ・ キズあとや術後の痛みが気になる
- ・ 日帰り手術は不安、でも長く入院もできない
- ・ せっかくなら最新の手術を受けたい
- ・ スポーツや趣味への影響を最小限にしたい

【最短 1泊2日の短期入院手術】

金曜入院・週末退院でお仕事への影響を最小限に。きずの小さな腹腔鏡下手術や最新のロボット手術で、きずの痛みや負担を最小限にします。入院による術後管理により、日帰りでは得られない、万一の合併症や予期しない事態にも医療者がすぐに対応できる安心感をご提供します。

5. よくあるご質問

Q. ロボット手術は保険がきくのですか？費用は？

A. 2026年6月の診療報酬改定により保険適用となりました。ロボット手術であっても患者さんの費用負担が増えることはなく、腹腔鏡下手術と同額です。詳細は外来でご案内しています。

Q. どの手術が自分に合うかわかりません。

A. 外来でご年齢、体力、持病、お仕事の状況、ご希望を踏まえて、患者様お一人おひとりに最適な手術法をご提案します。しっかりとご相談して手術方法を決定しますのでご安心ください。

ホームページ更新のお知らせ

当院ホームページ内に、鼠径ヘルニア特設ページを公開いたしました。病気の仕組み・手術の必要性・手術方法・麻酔の種類・入院の流れ・術後生活の注意点まで、わかりやすく詳しく解説しています。ぜひご覧ください。



<https://www.saiseikai-shiga.jp/dept/index/geka/kanjasan/hernia.html>

外科部長

小林 博喜 (コバヤシ ヒロキ)



【専門医・資格等】

- ・ 日本外科学会 専門医・指導医
- ・ 日本消化器外科学会 消化器外科専門医・指導医
- ・ 日本ヘルニア学会 鼠径部ヘルニア修得医・評議員
- ・ 日本内視鏡外科学会 技術認定医（ヘルニア）
- ・ 日本内視鏡外科学会ロボット支援手術プロクター（大腸・ヘルニア）

リハビリ通信

気圧の変化に負けない！梅雨時のスッキリ体調管理術

リハビリテーション技術科 理学療法士 武内 剛士

はじめに

6月に入ると、どんよりとした曇り空や雨の日が増えてきます。「体が重だるい」「関節が痛む」「気分がすっきりしない」といった不調を感じる方が増えてきます。これらは気のせいではなく、低気圧や湿度の高さによって自律神経のバランスが乱れることで起こる「気象病」の一種と考えられています。気圧が下がると体内でヒスタミンという物質が増え痛みに敏感になったり、だるさを引き起こしたりします。梅雨は体調が揺らぎやすい季節です。

そこで今回は、梅雨を元気に乗り切るための3つのセルフケアをご紹介します。

①自律神経を整える生活リズムづくり

雨の日でも、朝はいつも通りの時間に起きてカーテンを開け、部屋に光を取り入れましょう。曇り空でも窓際の明るさは脳を刺激し、体を「活動モード」へと切り替えてくれます。生活リズムが整うことで、一日の体調も安定しやすくなります。



②室内でできる軽い運動で血行を良くする

だるいからと動かずにいると、血行が悪くなり、さらにだるさが増してしまいます。そんな時こそ、室内でできる簡単な運動がおすすめです。特に「第二の心臓」と呼ばれるふくらはぎを動かす運動は効果的で、椅子に座ったままつま先を上げ下げするだけでも血液循環が促されます。左右10回ずつ、1日に数回行うことで、だるさやむくみ、関節痛の軽減につながります。



③ぬるめのお風呂でリラックスし、睡眠の質を高める

夜はシャワーだけで済ませず、38～40℃のぬるめのお湯に10～15分浸かるのがおすすめです。副交感神経が優位になり、心身の緊張がほぐれて深い睡眠につながります。また、梅雨時は意外と汗をかきやすいため、入浴前後のコップ1杯の水分補給も忘れずに行いましょう。



リハビリテーション科からのメッセージ

梅雨は天候の変化が大きく、体調が不安定になりやすい時期です。無理をせず、自分の体の声に耳を傾けながら、できる範囲で軽い運動や生活の工夫を取り入れてみてください。外出が難しい日でも、室内でのちょっとした取り組みで筋力や体力はしっかり維持できます。体調や運動方法について気になることがあれば、いつでも当科スタッフへお気軽にご相談ください。

病院に彩りを 園芸チームの新たな挑戦

当院では、障がい者雇用スタッフによる園芸活動を本格的にスタートいたしました。活動は、プランターに花を植えるだけでなく、植物たちの「家」となる木枠を、木材の切り出しから組み立てまで、一つひとつ手作りするところから始めました。木枠には障がい者専用業務室「SSDEAP」の名称を描き既製品にはない、木の温もりを感じていただければ幸いです。

この手作りプランターでは春・夏・秋と、年に3回の植え替えを予定しています。その時々季節に最も輝く花々を選び、病院を訪れる方々の目を楽しませる空間づくりを目指します。

木枠の作成・植栽・毎日の水やりを行う。こうした一連の作業は、スタッフにとっても植物の生命力に触れ、元気を分かち合う大切な時間となっています。スタッフが丹精込めて育てた花々が、療養中の皆様やご家族の心を少しでも癒やし、笑顔のきっかけになることを願っています。手作り花壇は病院玄関と保育所に設置予定です。お越しの際は、ぜひ足を止めてご覧ください。



園芸チームのメンバー



手作りプランターと季節の花々

地域の中学生が職場体験「ますます医療職に就きたい」

5月28日と29日、栗東市内の中学校に通う2名が「中学生チャレンジウィーク(職業体験)」で当院を訪れました。この取り組みは、働く大人の姿にふれながら自分の生き方や進路を見つめ直すことを目的に滋賀県内の全ての公立中学校で行われています。

体験先は救急災害業務室・リハビリテーション技術科・看護部・総務課の4部署。ドクターカーやドクターヘリへの搭乗、職員へのインタビューなど、充実した時間を過ごしました。体験中には実際に救急車が到着する場面もあり、三次救急の医療現場を肌で実感していただきました。また、リハビリや病棟では患者さんとふれあう場面もありました。

将来は医療職を目指しているという2人は、「実際の職場を体験して、ますますなりたいという気持ちが強くなった」と笑顔で語ってくれました。

いつの日か、共に働ける日を楽しみにしています。



ドクターヘリの整備士にインタビューをする中学生



リハビリ体験の様子

5月12日は看護の日 看護体験イベントを開催

5月12日は「近代看護の母」フローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ「看護の日」とされています。この記念日に合わせて当院では「寄り添う心、支える力、看護の輪を広げよう」をテーマに、今年もさまざまな企画を実施しました。

エントランスホールには、看護師のメッセージパネルを展示。また認知症や糖尿病をテーマにしたミニ講座も開催し、専門の看護師がわかりやすく解説しました。

5月23日(土)には、野洲吹奏楽団による演奏会と小中学生向けの看護体験イベントを開催。AEDや聴診器の体験、フライトナースのユニフォーム試着体験など看護を身近に感じられるコーナーを多数ご用意しました。全てのブースを回ると記念品が貰えるスタンプラリー企画もあり、楽しく看護を学べる機会となりました。

この体験を通して、子どもたちが医療や看護の現場に興味を持ち、人を思いやる心や命の大切さを学ぶきっかけになればと願っています。



認定看護師によるミニ講座



看護体験イベント

ボランティア総会を開催しました

日頃より当院の外来でボランティアをしてくださっている西村峰雄さん、田中治さんの2名を対象に表彰式が執り行われました。

2025年度も精力的に活動いただき、実績としては西村さんは66日(199時間)、田中さんは19日(59時間)に上ります。特に西村さんは今年で活動12年目を迎えます。表彰の際には「動けるうちは続けたい」と力強くコメントされました。

当日は三木院長より感謝状と記念品が贈呈されました。外来を統括する三崎副看護部長は「外来にはお困りの患者さんがたくさんいます。ボランティアの皆さんの存在が安心感につながっています」と感謝を述べました。

表彰式後の意見交換会では、新たに導入されたLINE WORKSを活用した情報共有や、患者さんへの問い合わせ対応について活発的に意見が交わされました。皆さんの温かいご支援に、改めて感謝申し上げます。



外来ガイドボランティアの
田中治さん(前列左)と西村峰雄さん(同右)



意見交換会の様子

災害備蓄食をフードバンクへ寄付しました

災害備蓄食の更新に伴い、まだ十分に安全でおいしく食べられる食品を、フードバンク滋賀様へ寄付することといたしました。

済生会滋賀県病院は、日頃から地域の皆様の命と健康を守る役割を担っています。だからこそ、災害用とはいえ「食」という命をつなぐ大切な資源を、賞味期限が近いという理由だけで廃棄することなく、社会全体で資源を有効活用し、誰もが健やかに暮らせる社会をつくることは、災害拠点病院としての責務であると思っています。

この取り組みは、SDGsへの目標達成に貢献するものでもあります。今回の寄付が、フードバンク滋賀様を通じ福祉施設や生活に困窮されている方々の笑顔につながり、少しでもお役に立てれば幸いです。食品ロス削減という地球に優しい取り組みの一環として、そして何より、地域の温かい助け合いの輪を広げる一助となることを心より願っております。



栄養科の職員(左)とフードバンク滋賀様(右2名)

Information

日帰り人間ドックのお申し込みはWeb予約が便利です

日帰り人間ドックのご予約は、24時間いつでもお申し込みいただけるWeb予約が便利です。2026年3月より、各種健康保険組合・共済組合に加入中の方もWeb予約が可能になりました。ただし、頭部MR検査・肺がん検査(胸部CT)・血管検査などの一部オプション検査はWeb予約に対応しておりませんので、ご希望の場合はお電話にてお申し込みください。

詳しくは、当院のホームページをご覧ください。



個人申込のほか、**協会けんぽ**や
健康保険組合・共済組合に加入中の方も
Web予約の利用が可能になりました!



詳しくは
ホームページを
ご覧ください

当院では無料低額診療事業を実施しています

詳細は当院ホームページをご確認ください。



▲HPはこちら

かかりつけ医をもちましょう

「かかりつけ医」は患者さんやご家族が、身近に日常的な治療及び健康管理について相談できるお医者さんです。体調の変化で気になることを気軽に相談できる関係性を築くことで、病気の早期発見や予防につながります。自宅や職場の近くにかかりつけ医をもっていただくことをお勧めします。



大津市 かたおか皮膚科クリニック

院長 片岡 照貴 先生

～2026年6月1日 開院～

浜大津に皮膚科クリニックを開院させていただくことになりました。これまで一般的な皮膚科診療はもちろん、各病院において下肢静脈瘤、褥瘡、外傷（縫合処置など）、血管腫（レーザー治療）、皮膚外科、皮膚悪性腫瘍（皮膚がん）、創傷治療などを勉強してきました。

また皮膚科診療にいかせるようにと、これまでに形成外科、頭頸部外科、病理診断科、麻酔科、感染症内科、救急科でも研修してきました。

研修医の頃から比べると、医療そのものが進歩し、治療法も変化し続けているように感じます。そのために常に学び、正しい知識を身につける姿勢が大事だと考えています。そして適切な治療、的確な治療につながるよう心がけたいと思っています。

長年住み慣れた大津で地域に根ざした皮膚科の診療を行いたいと思うようになり、開院にいたしました。地域の皆様にとって、たよりになる身近な皮膚科クリニックをスタッフとともに一丸となって目指したいと考えています。どうぞよろしくお願いたします。

滋賀県大津市浜大津3丁目8番22号
(京阪びわ湖浜大津駅、三井寺駅より徒歩3分、川口公園前)
(提携駐車場あり)

TEL. 077-511-9195

【診療科目】

皮膚科・アレルギー科・小児皮膚科



▲HPはこちら

【診療時間】

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○	/	○	○	/
15:00～17:00	★	★	★	/	★	/	/
17:00～19:00	○	○	○	/	○	/	/

休診日：木曜日・日曜日・祝日

★…予約のみ（手術、処置など）

受付終了時間は診療時間終了の30分前



栗東市 おおはしファミリー歯科

院長 大橋 清誠 先生

～乳幼児から高齢者まで～

地域に根差したホームドクターとして12年前に夫婦で開業いたしました。このたび、リニューアルいたしました。

外観や看板は木のぬくもりと白を基調としたやさしいデザインに一新され、より親しみやすい印象に。院内は半個室・個室の診療空間へと改善され、周りを気にせず落ち着いて治療や相談ができる環境が整いました。

人生100年時代！に向け、ブルーラジカル治療やレーザー治療等、必要な治療を希望される患者様にも対応しております。

高齢者の義歯については、金曜日午前中に院長が診療いたします。

患者様のかかりつけの医院とも連携をとり、対応いたします。

滋賀県栗東市小平井1丁目16-14
(JR栗東駅より車で約5分) (JR草津駅より車で約8分)
(無料駐車場 9台完備)

TEL. 077-552-5850

【診療科目】

一般歯科・小児歯科・矯正歯科・
予防歯科・レーザー治療・審美歯科・
ブルーラジカル治療



▲HPはこちら

【診療時間】

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○	/	○	○	○
14:30～19:00	○	○	★	/	○	★	/

休診日：木曜日・祝日

★…18:00まで診療しております。

日曜日の受診につきましてはお問い合わせください。



病院理念

私たちは、済生会の「救療済生」の精神に基づき、安全で質の高い医療の提供と、心温まるサービスを実践し、地域の皆様の安心と幸せな未来へ貢献します。

かけはしNo.249 2026年7月

発行元 社会福祉法人 済生会滋賀県病院

〒520-3046 滋賀県栗東市大橋二丁目4番1号

TEL (077) 552-1221 (代) URL <https://www.saiseikai-shiga.jp/>